

第2章 吉川市民のまちづくり意向

2-1 都市計画マスタープラン策定時のアンケート調査

2-1-1 調査概要

[調査目的]

都市計画マスタープランの策定にあたり、市民の意見を把握していく必要があると考え、本計画が20年後の将来を見据えた計画であることを考慮し、満16歳以上の市民を対象としただけでなく、20年後の中心世代となる中高生に対してもまちづくりの具体的な意見や要望を広く把握していくためにアンケート調査を実施しました。

[主な調査内容]

調査は次の3つの内容で実施しました。

- 住まいの周辺の現況について
- 吉川市全体の現況について
- 将来の吉川市について

[調査概要]

調査対象等は以下の通りです。

調査地域	吉川市全域		
調査対象	満16歳以上の市民	2,240人	
	市内の中学校に通学する全生徒	1,954人	
	市内の高校に通学する全生徒	630人	
抽出方法	市民：住民基本台帳からの等間隔無作為抽出		
調査方法	調査票郵送配布 - 郵送回収法		
調査期間	平成9年11月20日～平成9年12月26日		

[回収結果]

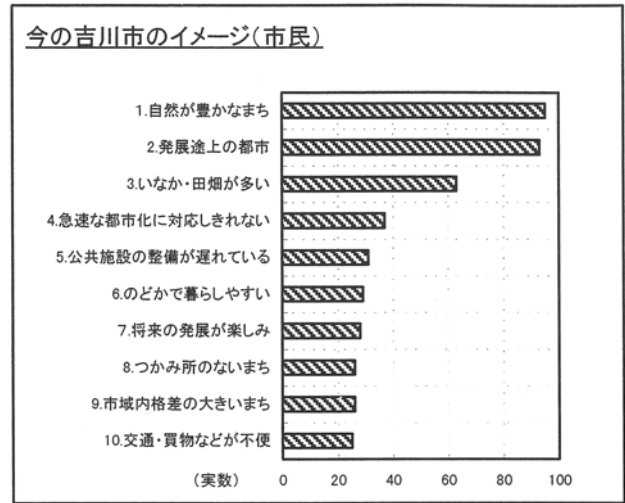
市民、中学生、高校生を対象とした3種類のアンケートの回収結果を以下に示します。

区分	配布数	回収数	回収率
市民	2,240	901	40.2%
中学生	1,954	1,481	75.8%
高校生	630	522	82.9%

2-1-2 調査結果

(1) 今の吉川市のイメージ

中学生・高校生・市民は、今の吉川市に対し、自然豊かなまち、発展途上の都市、いなか・田畑が多いこと等の共通したイメージを持っています。

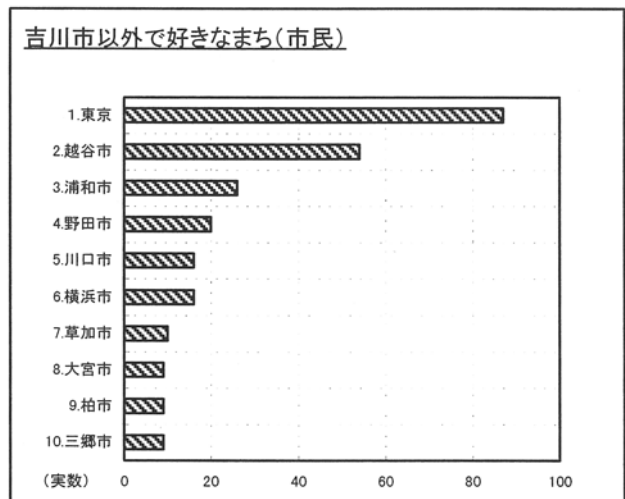


自由回答上位10位までを抽出

(2) 吉川市以外で好きなまち

中学生・高校生の好きなまちは、日常的な行動範囲である越谷市が1位で、次いで東京となっています。

また、市民の好きなまちは、1位が東京で理由としては「暮らしやすい、色々な機能が多い」があげられています。次いで2位が越谷市で「買い物・遊びに便利」、3位が浦和市で「自然とまちが調和している」となっています。



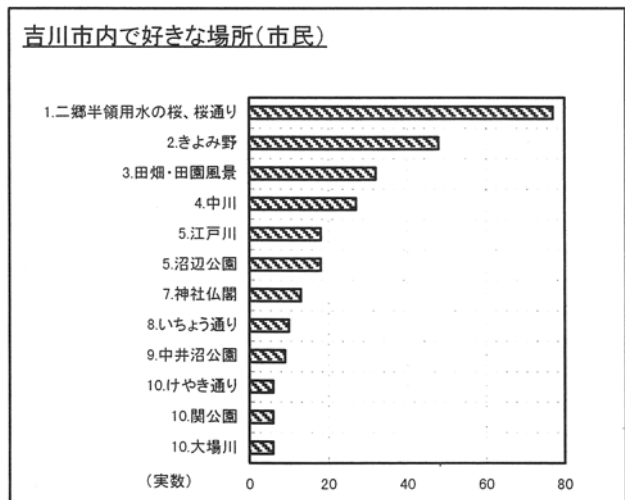
自由回答上位10位までを抽出

(3) 吉川市内で好きな場所

中学生は公園、高校生はきよみ野、市民は二郷半領用水の桜・桜通りが1位となっています。

また、きよみ野においては中学生、市民も上位3位以内となっています。

その他、田畑や田園風景をはじめとした自然に対する意見が多くなっています。



自由回答上位10位までを抽出

(4) 部門別に見た不満または改善の要望

道路・交通

街灯がなく暗い、道幅が狭いことが上位を占め、全体に共通した不満となっています。

その他に、高校生は、交通量が多いこと、市民は、違法駐車が多いこと等、交通環境の危険性や利便性に対する不満を持っています。

公園・緑地

中学生は、遊ぶ施設がないこと、高校生は、街灯がなく暗いこと、市民は、公園が少ないことをそれぞれ1位にあげています。

その他に、規模が小さいことが全体に共通した不満となっていますが、中学生・高校生は、ゴミ等が多く汚いこともあげており、公園の施設・環境に対する不満が多くなっています。

公共施設

中学生・高校生は、体育館等が少ないことに不満を持っているのに対し、市民は、病院等の施設が少ないことを1位にあげています。

その他、図書館等が少ないことは、全体に共通した不満であり、高校生は、病院等の施設が少ないこともあげています。

生活

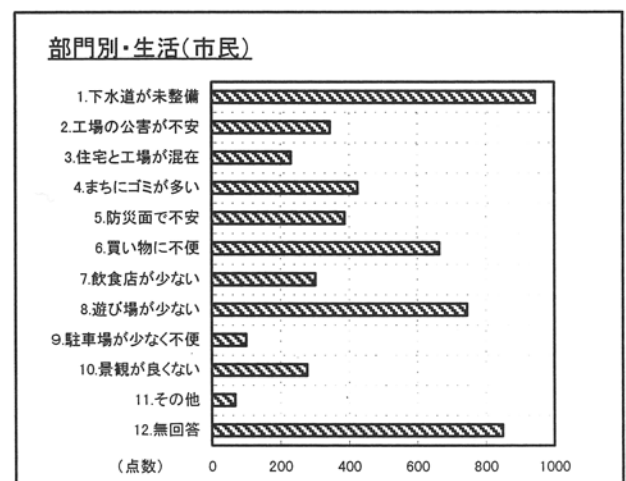
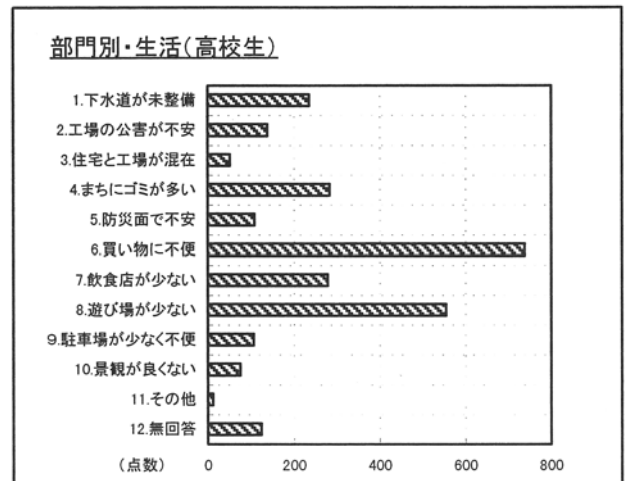
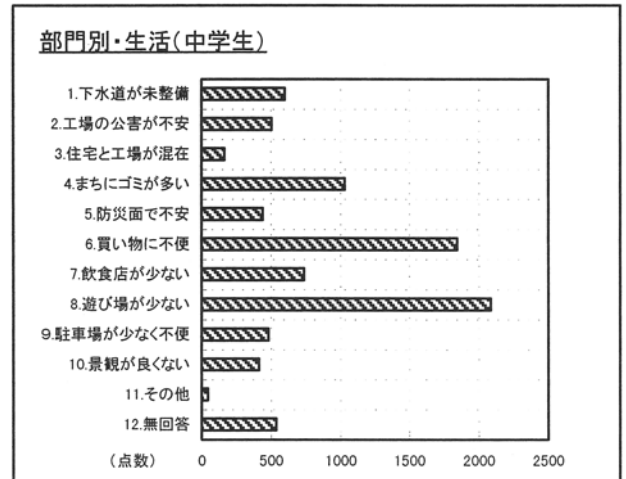
買い物に不便、遊び場がないことが上位を占め、全体に共通した不満となっています。

その他に、中学生は、まちにゴミが多いこと、高校生は、飲食店が少ないこと、市民は下水道の未整備に対する不満をあげています。

自然・文化

全体を通して、河川や水路が汚いことが1位となっており、共通した不満を持っています。

また、中学生・高校生は、動植物とのふれあいの場が少ないこと、市民は、大雨による浸水被害の危険性をあげています。



(5) 吉川市の将来像

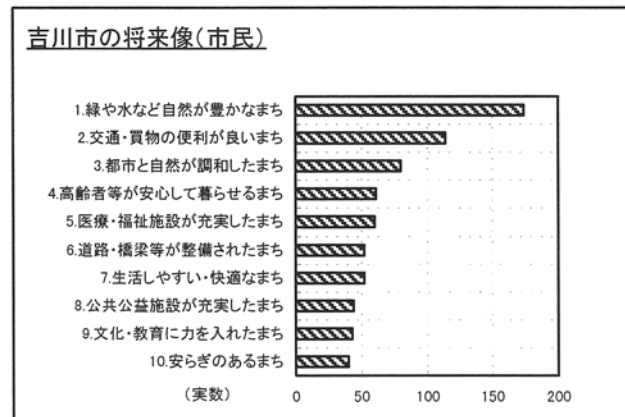
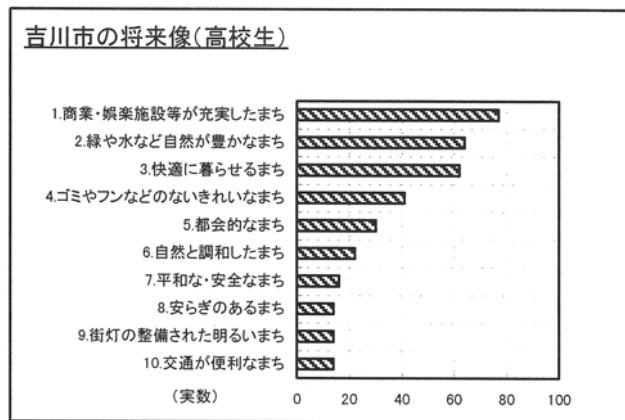
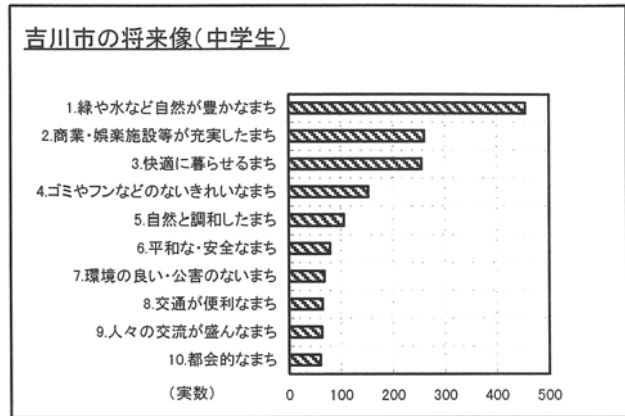
今の吉川市に対して自然が豊かなまちと感じているなか、将来的にも緑や水など自然が豊かなまちであり続けることが、全体に共通して上位にあげられています。

また、商業・娯楽施設等が充実したまち、交通・買い物の便利が良いまち、快適に暮らせるまち等、生活の利便性の向上を望んでいます。

20年後の吉川市への意向としては、豊かな自然と調和し、生活の利便性の向上したまちを望む傾向が全体的にみられます。

その他、中学生・高校生は、ゴミやフンなどのないきれいなまち、平和な安全なまち等の要望が多くなっています。

市民は、高齢者等が安心して暮らせるまち、医療・福祉施設が充実したまち等の要望が多く、福祉サービスの充実が望まれています。

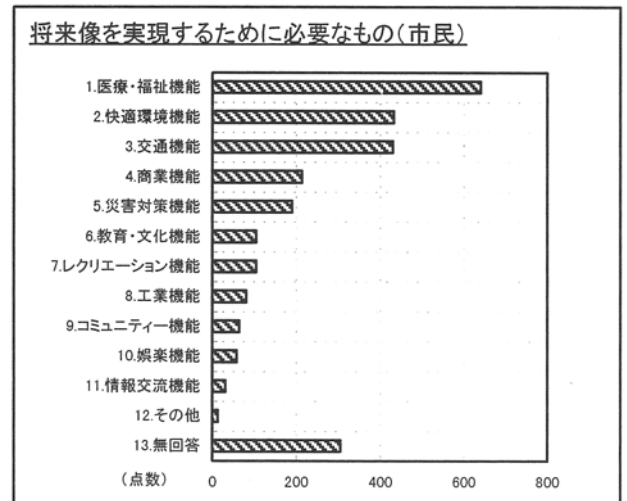


自由回答上位10位までを抽出

(6) 将来像を実現するために必要なもの

緑に囲まれ快適な生活を営むことができる快適環境機能が、中学生・市民の上位を占め、また、買い物に便利でにぎわいのある商業機能、映画館やゲームなど様々な遊びができる娯楽機能が中学生・高校生の上位を占めています。

市民は、安心して暮らせる医療・福祉機能を1位にあげています。

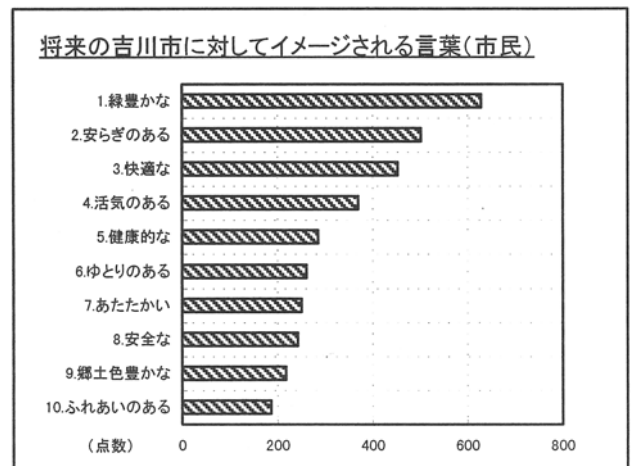


自由回答上位10位までを抽出

(7) 将来の吉川市に対してイメージされる言葉

全体に共通して、緑や水など自然が豊かなまちが望まれているなか、緑豊かなが、上位を占め、将来の吉川市に対してイメージされる言葉となっています。

中学生、市民が、安らぎのあるを上位にあげていますが、高校生は、商業施設等が充実したイメージを持つ、にぎやかな、活気のあるを上位にあげています。



自由回答上位10位までを抽出

2-2 見直し時の市民意識調査

2-2-1 調査概要

[調査目的]

市政に対する市民ニーズが多様化している中で、市民が市の現状に対してどのように感じ、評価しているのか、またこれから市の発展方向をどのように認識しているかなどを把握し、市政運営の基礎資料とするためにアンケート調査を実施しました。

[主な調査内容]

都市計画マスタープランの内容に該当する項目を記載します。

秩序ある土地利用

道路整備への取り組み

防災体制の充実への取り組み

[調査概要]

調査対象等は以下の通りです。

調査地域	吉川市全域
調査対象	満20歳以上の市民 1,500人
抽出方法	市民：住民基本台帳からの層化等間隔無作為抽出
調査方法	調査票郵送配布 - 郵送回収法
調査期間	平成22年10月5日～平成22年10月20日

[回収結果]

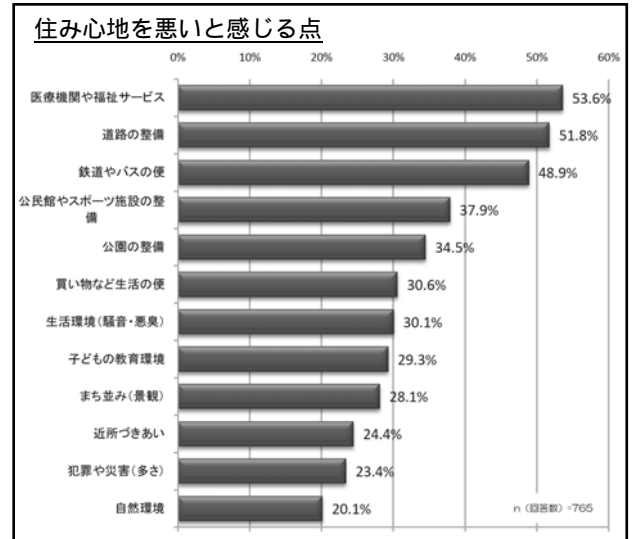
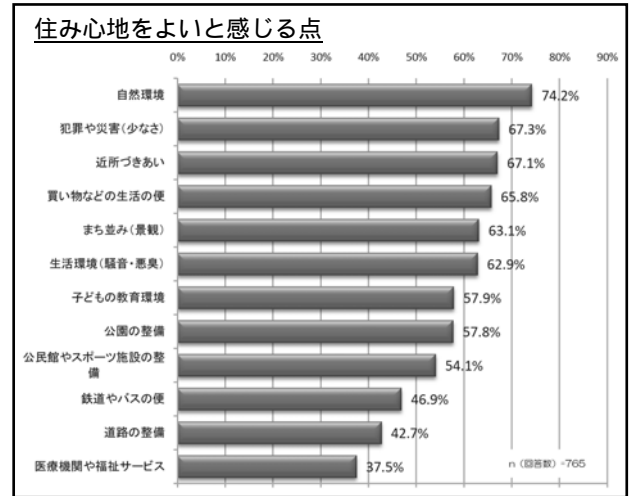
有効回答数(率) 765人(51.0%)

2-2-2 調査結果

(1) 住み心地をよいと感じる点・悪いと感じる点

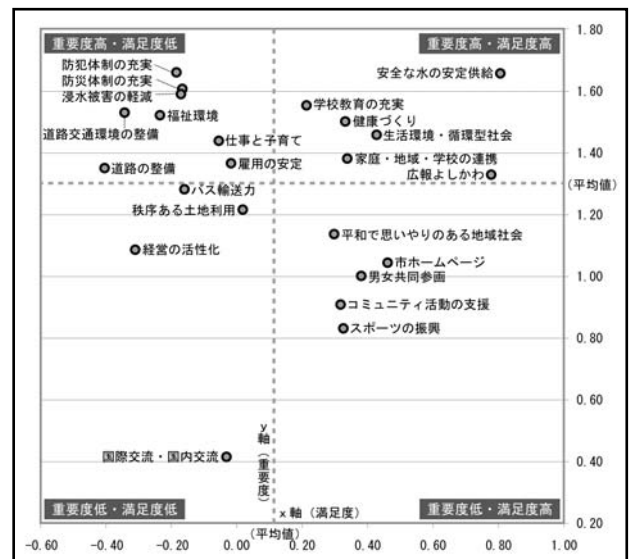
住み心地をよいと感じる理由として「自然環境(多さ)」が最も多く、次いで「犯罪や災害の少なさ」となっています。

一方、住み心地を悪いと感じる理由として「医療機関や福祉サービス」が最も多く、次いで「道路の整備」となっています。



(2) 吉川市の取り組みについての満足度・重要度

重要度が高く、満足度が低い取り組みは、「防犯体制の充実」、「防災体制の充実」、「浸水被害の軽減」、「福祉環境」、「道路交通環境の整備」、「道路の整備」、「仕事と子育て」、「雇用の安定」となっています。



2-3 市民意向のまとめ

吉川市民のまちづくり意向をまとめると、以下の内容について望まれているといえます。

自然が豊かな都市の形成

買い物に便利で娯楽等が充実し、にぎやかさのあるまちづくり

緑や水などの自然を活用したまちづくり

道路の整備、および街灯の充実などによる道路環境の向上

憩いの場となる公園の増設や規模が大きく遊具などが充実した公園

体育館等のスポーツ施設の充実

下水道の整備による生活環境の向上

若者の遊び場となる娯楽施設の充実

河川や水路の浄化など、水辺環境の改善

医療・福祉機能の充実

安全・安心に暮らすための防犯・防災体制の充実



『人と自然との共生、安全・安心で暮らしやすい

生活重視のまちづくり』

- ・ 緑や水など自然が豊かなまち
- ・ 商業施設等が充実し、交通の便が良く、買い物に便利なまち
- ・ 都市と自然が調和し、快適に暮らせるまち
- ・ 防災・防犯に配慮した安心して暮らせるまち